

研究に関する情報公開について

研究課題	手根管症候群患者における術前SWTスコアは術後6ヶ月での基準値達成の予測因子になるか—SWTスコアカットオフ値の検討—
研究機関の名称	医療法人社団友志会 石橋総合病院リハビリテーション科, 整形外科
研究責任者	清永 健治
研究対象者	2016年4月から2022年7月まで石橋総合病院で手根管症候群に対し鏡視下手根管開放術を行い, 術前から術後6か月まで経過観察可能である患者様を対象とします.
研究の目的・意義	<p>Semmes-Weinstein monofilament test (以下SWテスト) は手根管症候群を始めとする絞扼性末梢神経障害における代表的評価法です. 当院では2016年4月からの診療報酬の改定に伴い, 末梢神経障害患者に対する精密知覚機能検査の算定が可能となったことを受け, 主に手根管症候群や肘部管症候群の患者様に対し, 術前から術後までの期間, SWテストや痺れの評価, 筋力評価などを行い術後1年までフォローアップを続けています.</p> <p>これまで私たちは, 手根管症候群の患者様のSWテストの術前後の経過について, 過去の研究報告を参考にSWテストの結果をスコア化し, 様々な角度から研究解析を行い知見を発表してきました. その中でSWテストの回復は術後3~6ヶ月にプラトーを向かえる可能性を指摘しました. そこで今回, 私たちは, 手根管症候群の術後の回復過程における予後予測の精度向上を目的に, 術後6ヶ月時点での基準値達成の有無について, 術前スコアに焦点を当てカットオフ値を検討することになりました. この研究を行い, カットオフ値を明らかにし, 手根管症候群における手術前後の評価の精度を上げていくことで, リハビリテーション技術の向上やエビデンス(根拠)の構築に繋がり, 患者様の日常生活活動や生活の質の向上につなげるの一助となる事が出来ると考えます.</p>
研究方法	2016年4月から2022年7月まで石橋総合病院で手根管症候群に対し鏡視下手根管開放術を行い, 術前から術後6か月まで経過観察可能である患者様を対象とします. 診療録から情報を抽出し統計解析を行います. 本研究では患者様から新たな情報の提供は頂きません.
研究期間	石橋総合病院倫理委員会の承認を受けてから, 2023年4月末日まで
研究に使用する情報	<p>患者様の診療録より以下の情報を使用します.</p> <p>患者様の年齢, 性別, 手術側, SWテストの術前, 術後1週間, 術後1ヶ月, 術後3ヶ月, 術後6ヶ月の記録.</p> <p>患者さんが解析対象となることを拒否された場合, 対象から外させていただきますので, 下記研究責任者までご連絡ください. ただし, 連絡をいただいた時点で既に解析が行われていたり, あるいは研究成果が学会・論文などで発表されていたりする場合には, 対象から外することができませんのでご了承ください. なお, 研究に参加されなくても不利益を受けることは一切ありません.</p>

研究に関する情報公開について

研究に関する情報公開の方法	対象の方のご希望があれば、個人情報の保護や研究の独創性の確保に支障がない範囲内で、この研究計画の資料などを閲覧または入手することができますので、お申し出ください。
個人情報の取り扱い	診療録から抽出する情報は、個人を特定できないように、研究責任者が病院ID、氏名、生年月日の情報を削除し、個人を特定できる情報を新たな符号に置き換えた上で研究に使用します。データは研究責任者がリハビリテーション部門内にて厳重に保管します。新たな符号と個人を特定する対応表も同様に厳重に保管します。また、研究成果は、個人を特定できないようにして学会発表や論文などで報告します。
研究組織名称	医療法人社団友志会石橋総合病院リハビリテーション科 清永健治（研究責任者）
問い合わせ先	<b>【研究責任者】</b> 医療法人社団友志会 石橋総合病院リハビリテーション科 清永 健治 〒329-0596 栃木県下野市下古山 1-15-4 電話：0285-53-1134